

日本建築学会まちづくり支援建築会議

『まちづくり展』緊急企画

計画家・建築家・研究者の底力を発揮する

—あなたも提案で参加して下さい—

まちづくりとは、小さな希望をあつめ、人々のつながりの中でそれを育て、日常の暮らしと、それをささえる空間を作り出す技術です。

全ての暮らしと空間が、根こそぎ奪われてしまいました。しかし、私たちはそこに新しいきずなと希望を探すところから始めなくてはなりません。

復興への手がかりと希望の芽をさぐり、それを多くの人々と共有するため、日本建築学会まちづくり支援建築会議では総力をあげて『まちづくり展』を開催します。

前略、皆様には去る3月11日に端を発する大震災を目の当たりにして、それぞれのお立場で多様な活動を展開しておられることと思います。さて、この度、上記呼びかけ文にも示しましたように、日本建築学会まちづくり支援建築会議が主催する『まちづくり展』を当初の開催内容を変更して、実施していくこととなりました。詳細な内容およびスケジュールについては、添付資料をご覧くださいませ。

そこで、今回、このようなご案内を差し上げましたのは、この連続ワークショップの中で、全国各地で活動をされる皆様から、今回の大震災に関わるものとして、被災地の問題、長期避難、復旧、復興まちづくり等、様々な場面で活かしていくための提案シートを募集することと致しました。添付のA4用紙1枚のフォーマットを使っただけであれば、内容及び表現は全く自由な提案です。スケッチ等、多様な表現手段をとっていただいてもかまいません。具体的な空間提案やデザインもお待ちしています。ただし、最終的にはPDFファイルにしてくださいませ（お切りは4月20日とします）。

※提案シート送り先：まちづくり展実行委員会 machidukuriten@yahoo.co.jp

送っていただいた提案シートは、『まちづくり展』会場となる建築会館1階ギャラリーの特設コーナーに掲示させていただきます。4月12日から20日まで集められた提案シートをもとに、4月21日に会場でディスカッションを実施することとなります。

それらを『まちづくり展』最終日の4月22日に実施予定の総括討論でまとめた上で、政府に提言として提出することも視野に置いた今回の企画となっています。今回の大震災からの復旧そして復興の道は、個人の思いつきやこれまでの古い因習的なやり方では、到底進められるものではありません。計画家・研究者・学生等の様々な知恵を集め、底力を発揮して、国民的な議論を巻き起こしていく。そしてそこで提案されたアイデアを、各被災地域の特性に個別に対応しながら、持続的に実行していくことが重要になります。

以上の主旨をご理解の上、ぜひともご提案をいただきますよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。遠隔地で被災現場に駆けつけることが今はできなくても、我々だからできる支援の一つとしての提案募集です。様々な視点からのご提案をお待ちしています。

なお、今回ご提案いただいた皆さまのシートの中から、いくつかを選ばせていただいて学会報告書を作成することとなりますが、その際の編集および著作権等の扱いは、通常の論文集と同様の位置づけで進めさせていただきます。また、Web掲載の場合には、若干の修正の上、再提出いただくこともご了承下さい。

日本建築学会まちづくり支援建築会議

『まちづくり展』実行委員会

委員長 北原啓司

★提案シート提出にあたっての注意事項★

提案シートを提出される方は、下記の諸注意事項をご了承の上で提出してください。

- ・本提案募集にて提案していただいたアイデア内容にかかる著作権、意匠権、特許権等の全ての権利については提案者に帰属します。
- ・ただし、本提案募集にて提案していただいたアイデア内容に関し、本会は被災自治体や市民に参考にして役立てていただくために、提案者への事前同意なく、無償でこれを利用できる又は公開できる権利を有します。この場合、提案者は、本会による前記利用又は公開に対して、著作者人格権を行使しないものとします。
- ・本会は、本提案募集に提案していただいたアイデア内容を公開することがあります（例えば、本会ホームページにアップロードして公開すること、まちづくり展以外の様々な場面でも公開すること、編集・出版することなどを検討しています）。なお、本会が成果を公表する場合は、原則として提案者名を併せて公表するものとします。
- ・提案者が提案した内容または提案行為が、第三者の権利を侵害するものであった場合、当該侵害に対する全ての責任は提案者が負うものとします。

1) 余白部分については

上、下、左、右 すべて 5mm とします

2) タイトル、氏名欄の文字は

MS 明朝、12 ポイントでお願いします

3) 罫線は、この形式でお願いします。なお、タイトル部分の区切りの罫線は

各自におまかせします

★その他、シート内の文字、図表等の使い方は、すべて自由です